

横須賀明光高校 P T A

研究テーマ「自転車点検の大切さと現状」

これから令和元年度、横濱竹交通安全大会 神奈川県立横須賀明光高等学校の発表を行います。

現在横須賀明光高校では、「国際科」と「福祉科」からなり、未来を担う人づくりを目標に福祉の心と国際的な視野を持つ人を育てます。次年度より、大楠高校と統合し、新しい学校になります。今回私たちは自転車点検の大切さと現状を発表したいと思います。本校は、最寄り駅である J R 久里浜駅、京急久里浜駅、あるいは北久里浜駅から約 2 キロの距離に位置することから、自転車で通学する生徒も多数おります。私たち環境整備委員会では、登下校時の安全や、交通ルール・マナーの意識向上を目的に年 1 回自転車点検整備を行っております。



このカードを使い、神奈川県自転車防犯協会の整備士のかたに点検をお願いしております。



点検結果はこちらです。

点検台数 62台  
異常なし 35台

要修理 27台

要修理車は圧倒的に3年生が多いです。

点検の結果、要修理箇所は御覧のとおりです。

- ・ブレーキが利くかどうか
- ・チェーンの油切れ
- ・リフレクターの破損、角度
- ・ハンドルは水平かどうか
- ・泥除けカバーの破損
- ・ベルの破損
- ・タイヤの溝はない
- ・タイヤに空気が足りない

などがあげられます。

整備士のかたにお話しを伺いました。

「近年、量販店やインターネットで安価を求めて自転車を購入される方が多いようです。自ずと使い捨て感覚で少々の不具合もほったらかしにしてしまう傾向にあるようです。坂道の多い横須賀では、安価な自転車のブレーキは傷みやすく、タイヤの摩耗も早いです。親に与えられた自転車にただ何となく乗るのではなく、自分の責任で管理し、使用しましょう。

定期的にチェーンに油をさしたり、タイヤの空気、ブレーキを確認し、手入れすることは、自分の身を守ることであり、物を大切にすることでもあります。通学時間帯は、通行量も多く、より安全な状態な状態でなければなりません。自転車は日々「点検」が必要です。自分でもできる簡単な点検を行いましょ。ブレーキの点検。前輪・後輪ともにしっかり利きますか？左右のブレーキを握って、前輪・後輪が動かずにしっかり利いているか確認しましょ。横須賀は坂が多く、下り坂で前ブレーキだけに頼って止まろうとすると、車体ごと投げ出されてしまい、大変危険です。タイヤの点検、適正な空気圧と溝の確認、タイヤを指で押して確認、溝に異物が挟まってないか、溝が減ってないか、写真は溝のないタイヤです。



雨の日などは滑って大変危険です。」

リフレクタの点検。

ひび、汚れ、角度の確認。

意外と見落としがちですが、夕方や夜に乗ることの多い方や、曇りや雨の日にはリフレクタは大変な役割を果たします。

ライトの点検。

点灯するかどうか。電池タイプのライトは電池残量や予備電池の確認をしましょう。ライトは夜間に自身の居場所を車や人に知らせる大切な役割を果たします。無灯火乗車は大変危険です。

車体全体の点検。

ハンドル・サドル・チェーンの確認をしましょう。

ハンドルは水平か？曲がっているとハンドル操作に悪影響を及ぼします。

サドルは車体に対して並行にまっすぐ向いているか？高さは適切か。写真は曲がったハンドル・錆びたチェーンの自転車です。



日々の乗車前の点検も大事ですが、少なくとも半年から1年に1回程度、自転車店で点検を頼むと安心です。

「ブタはしゃべる」を合言葉に、お子様と自転車点検について、是非話し合ってみてください。

ぶ ブレーキ

た タイヤ

は 反射材

しゃ 車体

べる ベル

これで神奈川県立横須賀明光高校の発表を終わります。ご静聴ありがとうございました。